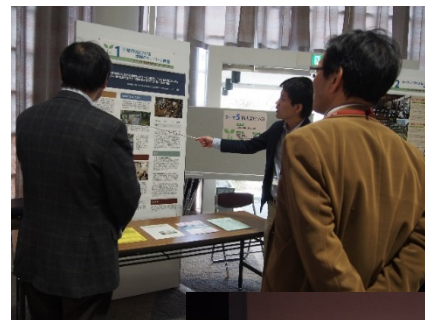
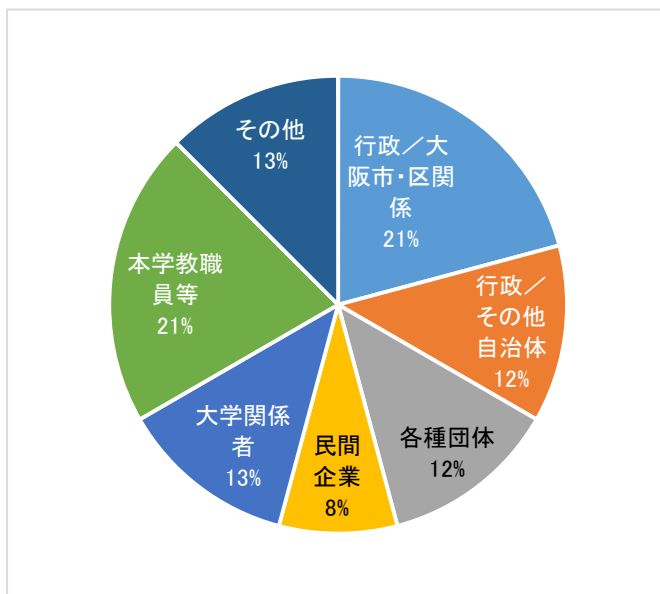


「第3回地域連携発表会～地域×大学 多様化する地域課題とつながりづくり～」 開催報告

平成28年3月10日（木）地域連携センター主催で、「第3回地域連携発表会～地域×大学 多様化する地域課題とつながりづくり～」を開催しました。多様化する地域課題への取組事例や連携のノウハウを5つのテーマに分けて紹介し、地域と大学のさらなるつながりづくりの可能性について議論を深めました。当日は行政関係者、各種団体、企業・地域の方など、本学教職員・学生らの参加を含め、約70名の来場がありました。

<参加者内訳>



◀ 学生による
ポスター発表



▶ 教員による
事例発表

開場後は学生によるポスター発表が行われたあと、第一部 事例発表として、文化・歴史、まちづくり・商業活性化、生涯学習・地域貢献、博学連携、防災まちづくりの5つのテーマについて教員による発表が行われました。

テーマ	発表者	所属	事例
1.文化・歴史	天野 景太	文学研究科 准教授	住吉区観光活性化の取り組み
2.まちづくり ・商業活性化	長尾 謙吉	経済学研究科 教授	日本橋筋商店街と連携した調査研究とその取り組み
3.生涯学習 ・地域貢献	飯野 盛利	理学部附属植物園長 ／理学研究科 教授	附属植物園の役割と新たな地域貢献の可能性
4.博学連携	志賀 向子	理学研究科 教授	博学連携―「高校生のための博物館の日」の事例から
5.防災まちづくり	宮野 道雄	理事兼副学長 ／地域連携センター所長	災害に負けないまちづくり

<参加者の声>

- ・今回初めて、大学の連携の取り組みを伺い、多角的視点を知るきっかけとなりました。
- ・非常に大きな連携への期待に、わくわくしました。

第二部では、事例発表の各講師を囲んで座談会を行いました。発表を受けてさらに詳しい連携内容について質問される方や、今後の連携のあり方について議論が交わされるなど、盛会となりました。

また、学生によるポスター発表も同時に行われ、優秀な発表を行った学生への表彰も行われました。地域連携発表会所長賞は、高木尚哉さん、副所長賞には、飯田凌平さんと新谷毅さんが選ばれました。

発表者（代表者）	所属	発表テーマ
1.古山 陽一	創造都市研究科 M2	阿倍野区における地域のネットワーク構築
2.上野 智博	生活科学研究科 M1	「オープンナガヤ大阪 2015」の取り組み
3.高木 尚哉	工学研究科 M2	梅田地下街への浸水を想定した接続ビルへの垂直避難シミュレーション
4.新谷 毅	理学研究科 D1	大阪平野の温泉資源評価
5.飯田 凌平	経済学部 1年	津波浸水が想定される校区の小学校での防災出前授業
6.大塚 成美	法学部 3年	レンゲ de すみ博 ～謎解きスタンプラリー～



▲ 座談会とポスター発表



▲ ポスター発表 表彰式

参加者からは「もっと広く広報し、多くの市民の人たちに参加してもらい、この雰囲気地域を持ち帰って生かしてほしい」「大学の研究が大学内や学会に留まることなく、地域へ広がることを期待します」といったご意見もいただき、次なる課題や可能性を確認できた発表会となりました。